

住民投票の結果をひっくり返そうとする署名

6/20

住民投票は、77.25%という高い投票率で、合併反対の住民の意思が示されました。

今、多くの町民は、町議会が住民投票の結果を尊重した議決を行うことを求めています。ところが、その一方では、住民投票の結果をひっくり返そうという動きが見られます。

議会での百武町長の発言

18日の町議会冒頭での、百武町長の発言は次の通りです。

住民投票の結果を真摯に受け止め、町民の意志を尊重したいと考えている。合併議案は今議会に提案できない。今後の対応については、議会と相談して決めたい」

ポイントは3点です。

合併反対という町民の意志を尊重する

「合併議案」(合併するという議案)は議会にはださない - - - 鹿島の桑原市長は「太良も町議会に合併議案を出せ」と押しつけていましたが、これを拒否。

最後の手続き - - 「合併協議会からの離脱」については、議会と相談して決める。

18日に議会に傍聴にいきましたが、合併反対の議員さんたちはニコニコしていました。逆に、合併賛成の議員は渋い顔をしていました。これで、議会の流れがわかりました。

父母の不安を利用した、合併推進の署名運動

ところが、このような住民投票の結果、議会の流れも無視した動きがあるのです。

19日、伊福保育園で写真のような署名簿がまわっていたと町民の方から連絡がありました。

この署名簿は、二つの点で問題があると思います。

まず、一つは、住民説明会で役場が出した「財政試算」に書かれている数字をさも決まった数字であるかのように父母の不安をあおっていることです。「財政試算」がまだ決まったものでないことは、町自身が言っていたとおりです。合併しないことが議会で確定したあと、人件費や経費の削減など町の行・財政改革が問題になります。町民全体で議論をしなければなりません。その中で、保育所に子供を通わせる父母のみなさんが「保育料は上げないで」という要求で署名運動などをおこすことは少しも不思議ではありません。

次に、この署名簿の中心は「町にはぜひ合併を成功させてもらい、これからも子育てや教育、文化等に関する支援事業を維持してもらいたいと思っています」ということです。これは、この署名簿が「保育料を上げないで」という父母の願いを利用した合併推進運動であることを示しています。

この署名簿を作った人は、77.25%という高い投票率で「合併反対」という住民の意思が示された

ことがそれほど不満なのでしょうか。それをひっくり返したいのでしょうか。このような動きは町民のみなさんの厳しい批判を受けるに違いありません。

署名簿の写真（名前は削ってあります）

みなさんはどう思われますか？

6月13日に鹿島市との合併の是非を問う住民投票が行われ、僅差で「合併反対」が上まわるという結果になりました。

太良町単独でやっていく場合の財政試算には保育料の値上げや小中学校備品購入費の削減、ALT（外国語教師）の廃止やしおさい館の使用料の大幅値上げ、チャイルドシート購入補助金の廃止などが挙げられていました。これでは子供を育てる環境があまりにも窮屈になってしまうのではないのでしょうか？

☆本来ならば一番充実させるべきところです！☆

町にはぜひ合併を成功させてもらい、これからも子育てや教育、文化等に関する支援事業を維持してもらいたいと思っています。そのためには皆さんの熱意が必要です！そこで私達の声（上記等の廃止や削減をしないで欲しいという思い）を町に届けるために署名を集めたいと思います。

どうか子供たちのために協力してください。お願いします。